

2010年3月19日

ニュースリリース

株式会社五藤光学研究所

愛媛県総合科学博物館に

直径30m 世界最大のハイブリッド・プラネタリウム誕生！！

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は、この程、愛媛県総合科学博物館（愛媛県新居浜市）に、新たなハイブリッド・プラネタリウムシステムを設置、納入した。同施設は、光学式プラネタリウム“SUPER-HELIOS”と全天周デジタル映像システム“バーチャリウム”により構成される世界最大（直径30m）のハイブリッド・プラネタリウムである。愛媛県総合科学博物館のハイブリッド・プラネタリウムは明日より一般公開される。

株式会社五藤光学研究所（取締役社長：五藤 信隆、東京都府中市）は、天文機器に関する総合メーカーである。1926年の創業時は小型天体望遠鏡を製造。1959年には光学式プラネタリウムの開発に成功し、日本及び世界各地に同設備を納入している。2004年からは光学式プラネタリウムと全天周デジタル映像システムを融合させた“GOTO ハイブリッド・プラネタリウムシステム”を開発し、国内外に数多くの納入実績がある。

愛媛県総合科学博物館（愛媛県新居浜市）は、1994年に開館した愛媛県の生涯学習施設である。ギネスブックに「世界最大のプラネタリウム」として認定される直径30mのドームを有し、愛媛県民に科学技術に関する正しい理解を深めるための学習機会を提供し、科学技術に裏付けされた創造的風土の醸成を図るとともに、科学技術の進歩と本県産業の発展に寄与することを目的として設置された。

開館以来15年以上が経過し、星空の高輝度化、番組の映像化を図るため、本年、従来のプラネタリウムからハイブリッド・プラネタリウムに生まれ変わった。今回、リニューアルした新プラネタリウムシステムは、

- 1) 従来よりも10倍明るい美しい星空
- 2) 宇宙旅行も体験できる全天周デジタル映像の投映
- 3) 室内を多目的に演出するカラフルなLED照明など

を備えている。これまでの「世界最大」に加え「世界最高峰」の機能を手に入れ、光学とデジタルが融合した「ハイブリッド・プラネタリウム」となった。

光学式プラネタリウムは、従来機種（GSS-HELIOS）から、10倍明るい星を投射出来るSUPER-HELIOSに更新された。恒星数もそれまでの25,000個から天の川も含め65万個もの恒星が投射出来る。恒星が明るくなったことで、室内で行うコンサートやイベントなどの際でも、星空を感じながら実施することが出来る。

番組の投射においては、従来はスライド投射機を用いて表現していたが、高輝度・高解像度のビデオプロジェクター（SONY SRX-T110）を用いた全天周デジタル映像へと進化した。2台のプロジェクターに五藤光学製の4K×4K解像度対応専用レンズを装着。30mのドーム全天に星座絵や星座線、文字や天体などを投射出来る他、宇宙空間を旅するかのよう演出（宇宙旅行）も体験することが出来る。

光学式と全天周デジタル映像は、五藤光学のハイブリッド・プラネタリウム技術により融合して投射することが出来る。星空に映像を重ねたり、一緒に日周運動させたりすることにより、施設の担当者が一つの操作で同時に2つのシステムを使用することが出来る。

また、従来はドームを部分的に照射していたカラー照明をLED照明に更新した。LEDは発熱量、電気量が少なく、環境にも優しい照明設備として注目されている。色鮮やかなLED照明によりプラネタリウム室内を色彩豊かに染めることができるため、これまで以上に様々なイベントで使用できるようになることが期待されている。

愛媛県総合科学博物館は、松山自動車道・いよ西条ICから約2km（約5分）、JR伊予西条駅、又はJR新居浜駅よりタクシー（約15分）、JR伊予西条駅からはバスも運行されている。開館時間は9:00～17:30。

休館日、料金及び投射時間の詳細などは同施設のHPをご参照ください。同じく五藤光学が納入した以下の2つの番組を投射しています。

愛媛県総合科学博物館 <http://www.i-kahaku.jp/index.html>

投射番組1「ジャーニー・トゥ・スターズ ～JOURNEY TO THE STARS～」
恒星が織り成す様々なドラマの現場を巡って行く、恒星と私達をつなぐ神秘の物語。

投射番組2「星の森 ～The Twinkle Story～」
流れ星の夜に一人の少女が体験した出来事を切なくもファンタジックに描いた物語。

< 解説 >

株式会社五藤光学研究所 (GOTO INC)

プラネタリウム、大型映像システム、天体望遠鏡製造のトップメーカー。特にプラネタリウムでは国内シェアの約7割を占めている。全天周フィルム映像(アストロビジョン)や3Dデジタル映像装置(バーチャリウム)を他社に先駆けて開発、発表する他、機器設備の能力を活かした映像コンテンツ制作も行う“ドーム空間のトータルクリエイター”である。

〒183-8530 東京都府中市矢崎町四丁目16番地

オフィシャルHP <http://www.goto.co.jp/>

愛媛県総合科学博物館

1994年開館。県民に科学技術に関する正しい理解を深めるための学習機会を提供し、科学技術に裏付けされた創造的風土の醸成を図るとともに、科学技術の進歩と本県産業の発展に寄与することを目的として、1994年11月にオープンした。2009年度には開館15周年を迎え、開館以来300万人(2009年3月15日現在)を超える来館者など、県民はもとより県外の方にも、親しみ愛される施設として定着している。

〒792-0060 愛媛県新居浜市大生院2133-2

オフィシャルHP <http://www.i-kahaku.jp/index.html>

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM)

株式会社五藤光学研究所が開発、提唱する新しいプラネタリウムシステム。光学式プラネタリウムと、様々な迫力ある映像を投映する全天周デジタル映像システムを組み合わせ、各々が常に同じ座標空間を投映出来る仕組みを有するものである。同システムは、仙台市天文台、千葉市科学館、さいたま市青少年宇宙科学館、鹿児島市立科学館、はまぎんこども宇宙科学館、ナッシュビル・アドベンチャーセンター(米国テネシー州)、藤沢市湘南台文化センターこども館、中国科学技術館(中国北京)などに納入されている。

ハイブリッド・プラネタリウム (HYBRID PLANETARIUM)、バーチャリウム (VIRTUARIUM) は株式会社五藤光学研究所の登録商標です。

以 上